

水産物の市況について(令和2年4月及び令和2年5月)

—東京都中央卸売市場における令和2年4月(令和2年3月21日～令和2年4月20日集計)の市況と、
令和2年5月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和2年4月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、コロナ禍により、3月に外食需要が減少した高級鮮魚のほか、4月には一般鮮魚の需要も落ち込んだことから、前年同月と比べかなり減少し、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、弱含みに推移しました。

II 令和2年5月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、やや弱含みと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、銀ざけを主体にやや増加すると見込まれ、卸売価格は、やや弱含みと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、やや減少すると見込まれ、卸売価格は、需要が弱いことから、やや弱含みと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量はやや増加すると見込まれるものの、卸売価格は、小型主体の入荷であることから、やや弱含みと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、やや増加すると見込まれ、卸売価格は、需要が落ちていることから弱含みと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、全体ではやや減少すると見込まれ、卸売価格は、需要が弱いことから、やや弱含みと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は、やや増加すると見込まれるものの、卸売価格は、やや弱含みと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	4月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
2年	27	920	29	1,014	33	1,057
前年	36	1,088	29	1,095	32	1,098

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	4月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	269	91	80	84
さけ・ます(平均)	768	97	70	82
(ぎんざけ塩蔵品)	794	98	73	83
(あきさけ塩蔵品)	568	95	74	82
(ときさけ塩蔵品)	1,195	95	115	120
(べにざけ塩蔵品)	1,197	95	87	110
(さけ類冷凍品)	729	98	69	82
さば(生鮮品)	365	92	96	97
するめいか(平均)	918	102	96	130
(生鮮品)	902	102	91	110
(冷凍品)	1,084	100	119	176
あじ(生鮮品)	533	81	103	93
まぐろ(冷凍品)	1,100	88	70	73
(めばち冷凍品)	883	96	79	82
(きはだ冷凍品)	880	92	77	93
(くろまぐろ冷凍品)	2,727	94	87	80
(みなみまぐろ冷凍品)	1,615	90	80	77
かつお(生鮮品)	677	77	87	93

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:4月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成27年～令和元年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 佐藤、小山

直通 03-3591-5612